

# がん患者支援のためのセルフウォークリレー



勝浦ゼミナール |  
経済学部経済学科 3年  
近藤彩水 溝渕琴

## ◎リレー・フォー・ライフ (RFL) について

がん経験者に寄り添い歩く、リレー・フォー・ライフ (RFL) セルフウォークリレー。RFLは、がん征圧とがん患者支援を目的としたチャリティ活動。アメリカのクラット医師が「がん患者は24時間、がんと向き合っている」という想いを共有し支援するため、24時間走って募金活動をしたことから始まった。彼の一步が「リレー・フォー・ライフ」へと繋がり、世界中に広がっていった。集まった寄付は、がんの新しい治療法や新薬開発、若手医師の育成、がんに関する相談事業、検診受診率向上の推進活動に役立てられている。

## ◎使命と三つのテーマ

使命：“Save Lives”  
直訳すると「命を救う」だが、単に医療行為によって救命を行うという意味ではない。医療に従事していなくても、RFLに参加し寄付金を募ることで医療の進歩に貢献し、間接的に人の命を救うことができる。そして、生きる希望を失った人の支えになることもまた、命を救うことである。RFLにおける“Save Lives”のもうひとつの意味、それは「人の魂を救う」ことである。

### 3つのテーマ：

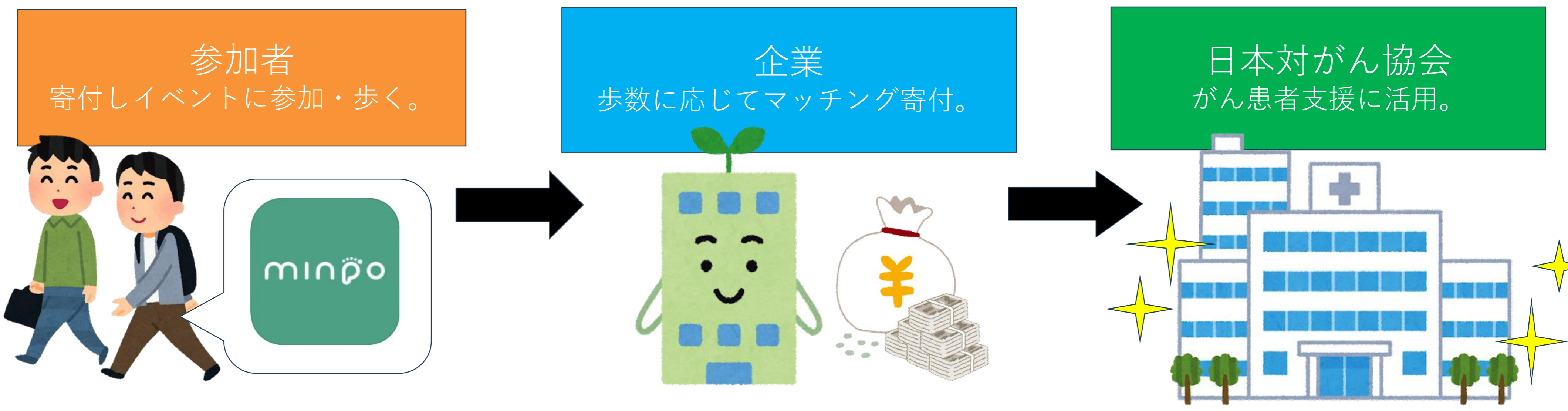
- ①祝う  
がんの告知を乗り越え、今を生きているがん経験者や家族などの支援を讃え、祝福する。
- ②しのぶ  
がんで亡くなった愛する人をしのび追悼する。また病の痛みや悲しみと向き合っている人たちを敬う。
- ③立ち向かう  
がんの予防や検診を啓発し、征圧のための寄付を募り、がんで苦しむ人や悲しむ人をなくす社会をつくる。

## ◎セルフウォークリレーの仕組み

セルフウォークリレーとは、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、2020年からスタートした新しい形のRFL。チャリティーウォーキング専用のアプリ「minpo」を用いて歩数を計測。自分だけでなく、一緒に参加している仲間の歩数やランキングも確認できる。参加者は参加費を寄付し、期間内に少しでも多く歩く。歩数に応じて企業がマッチング寄付（参加者の歩数に応じた寄付）をし、寄付されたお金はがん患者支援に活用される。目安として、65,000歩が1件の電話相談費用に充当する。

## ◎特別協賛

三菱UFJ銀行、住友生命、中外製薬、SANOFI、ECC、武田薬品工業株式会社、小野薬品工業株式会社、POLA、Daiichi-Sankyo、Gold Anchor、JCR、大樹生命、BECKMAN COULTER、Bristol Myers Squibb、熊谷組 等...





◎昨年の記録

開催期間：2022年9月18日～2022年10月17日  
開催場所：オンライン（全国どこからでも）  
参加者数：203人（全体） 37人（勝浦ゼミ生）  
歩数：40,402,011歩（全体） 7,109,688歩（勝浦ゼミ生）

◎参加費

一般：1,000円  
高校生以下：無料  
がんサイバー：無料

◎ランキング（勝浦ゼミ生のみ）

2022年  
1位 769,032歩（25,634.4歩/日）  
2位 459,576歩（15,319.2歩/日）  
3位 425,230歩（14,174.3歩/日）  
4位 355,632歩（11,854.4歩/日）  
5位 307,175歩（10,239.1歩/日）  
6位 **302,219歩（10,073.9歩/日）** 近藤どうえす！！

2023年  
1位 412,304歩（13,743.4歩/日）  
2位 **382,877歩（12,762.5歩/日）** 溝淵どうえす！！  
3位 315,885歩（10,529.5歩/日）  
4位 **291,256歩（9,708.5歩/日）** 勝浦先生！！！！  
5位 288,362歩（9,612.0歩/日）  
6位 280,727歩（9,357.5歩/日）

◎勝浦ゼミ生の取り組み

- ・比較的涼しい時間帯に家の周りを散歩した。
- ・移動する際に一駅ほどであれば電車を使わず徒歩で移動した。
- ・みんなで川越の街を歩いた。
- ・リストバンドを1ヵ月間つけながら生活し、24時間がんとう闘っている方との繋がりを感ずることで1ヵ月間歩き続けることができた。

